

令和３年度 幌加内町新型コロナウイルス感染症対応に関連する事業											
担当部署	N o	区分	対象	事業名	事業の概要	事業期間	進捗状況	成果目標	目標に対する成果	事業の効果	総事業費 (円)
地域振興室	1	次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復	地域外の事業者	まちづくりビジョン策定事業	「新しい生活様式」等へ対応するため、地域外からソーシャルデザイナーを呼び込み、WSを設置しソーシャルデザイナーと協創して、価値創出のデザインと地域経済力向上を図るビジョンを作成し、アフターコロナを見据えたまちづくりの実現を推進する。 【内容】 まちづくりビジョン策定業務委託	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			地域外からソーシャルデザイナーやアドバイザーを招聘し、町民を委員としたワークショップにおいて、全体で13回、専門部会や小グループに分かれて8回、合計21回の会議や現地検討会を行い、アフターコロナを見据えたまちづくりのビジョンを作成することができた。	9,583,200
地域振興室	2	雇用の維持と事業の継続	公共交通事業者等	公共交通事業者等特別支援金	感染防止策を講じながら事業の継続及び従業員の雇用継続をする事業者への支援 【内容】 1事業者あたり60万円を支援	R3. 4. 1 ～ R3. 9. 30	令和３年度に事業完了			事業者に対して支援金を給付する事により、各協会及び連合会で定めるガイドライン及び国が示す「新しい生活様式」等の指針に基づき、感染防止対策を実施して、事業の継続に寄与する事ができた。（実績：2事業者）	1,200,000
産業課	3	雇用の維持と事業の継続	地域の事業者	「幌加内そば」需要拡大PR事業（日赤献血確保支援）	コロナ禍で献血者が減少しているため、献血者に対し「幌加内そば」を提供することにより、献血者の確保に貢献すると共に、外出自粛に伴い需要が低迷している本町特産の「幌加内そば」の需要拡大をPRする。 【内容】 「幌加内そばを購入し、北海道赤十字血液センターに提供	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			本町特産の「幌加内そば」の需要拡大を広くPRする一方で、コロナ禍で減少する献血者の確保に貢献し、「幌加内そば」と「献血」のコラボレーション事業へ発展し、社会貢献にも寄与することができた。	5,664,165
産業課	4	雇用の維持と事業の継続	地域の事業者	新型コロナウイルス感染症経済対策補助金（緊急資金利子補給事業）	緊急資金の借受者に対し、その負担軽減を図るため、信用保証料及び利子補給を行う。 【内容】 保証料及び利子補給	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			コロナ禍、国の緊急事態宣言、まん延防止等措置、道の外出自粛要請等により飲食店を中心に売り上げが減少。運転資金の調達など有利な条件、迅速な対応のため、北空知信用金庫と連携し緊急資金制度を整備（上限額1,000万円）。信用保証料、利子について町が支援し、無利子、無担保で貸し付けを行い事業者の経営継続を支援することができた。（実績：信用保証料2件、利子補給7件）	571,671
産業課	5	雇用の維持と事業の継続	地域の事業者	新型コロナウイルス感染症経済対策補助金（持続化給付金特別補助事業）	事業者に対し給付金を支給することにより、経営継続の支援をする。 【内容】 個人1事業者10万円・法人1事業者20万円を支給	R3. 4. 1 ～ R3. 9. 30	令和３年度に事業完了			コロナ禍、国の緊急事態宣言、まん延防止等措置、道の外出自粛要請等により飲食店を中心に売り上げが減少した事業者等の経営継続に寄与することができた。（実績：飲食宿泊業5件、製粉事業者1件）	2,000,000
高校	6	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	幌加内高等学校	幌加内高等学校暖房設備改修工事	将来にわたって想定される休校等による冬季休業日の短縮や、学校における感染予防対策として換気の徹底が望まれている中、主に冬期間の授業に影響を及ぼさないよう暖房機等の機能性及び操作性の向上のため更新工事を行う。 【内容】 FF式暖房機更新（22台）	R3. 4. 1 ～ R3. 9. 30	令和３年度に事業完了			高出力の暖房機器を設置により室温及び換気の頻度を維持することができ、感染防止対策を徹底することで高校において新型コロナウイルス感染症を感染拡大することなく事業を実施することができた。	4,312,000
教育委員会	7	次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復	地方公共団体	定住化促進住宅改修事業	テレワークや自然豊かな生活、職住の隣接や複数拠点での生活等、都市からの移住者を受け入れるため、昭和55年建築の教員住宅（1棟2戸）を用途変更して、外装・窓サッシの断熱改修及び洗面化粧台やLED照明器具の設置等、現代的な改修を行い体制を強化する。 【内容】 改修工事	R3. 4. 1 ～ R3. 10. 31	令和３年度に事業完了			昭和55年建築の住宅に現代的な生活を行う上で必要な改修を行い、都市からの移住者を受け入れる体制を整えることができた。	22,924,000
総務課	8	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	地方公共団体	消防救急活動感染防止対策事業	消防救急活動時における感染防止対策を行うことで、隊員の感染リスクを低減する。 【内容】 感染防止対策用消耗品購入	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			ディスプレイ化した感染防止衣及び消毒液等を確保したことで消防救急隊員の感染を防ぐことができた。	741,675
総務課	9	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	地方公共団体	救急隊感染防止強化事業（備品）	救急活動時における感染防止対策を行うことで、隊員の感染リスクを低減する。 【内容】 感染防止対策用備品購入	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			救急活動における感染防止強化備品の購入により、隊員の感染リスクを減少させることができ、消防救急体制の安全が確保された。	6,198,500
保健福祉課	10	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	双葉保育園	幌加内町双葉保育園暖房改修工事	保育園における感染予防対策として換気の徹底が望まれている中、冬期間は特に室温低下を避けるため、換気の頻度が落ちる。そのため、高出力の暖房機器を設置し、頻密に換気を行える環境を整備することで、感染リスクを低減させる。 【内容】 FF式暖房機更新費用（2台）	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			高出力の暖房機器を設置により室温及び換気の頻度を維持することができ、感染防止対策を徹底することで保育園において新型コロナウイルス感染症を感染拡大することなく事業を実施することができた。	423,500
保健福祉課	11	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	ふたばクラブ（幌加内町学童保育）	幌加内町学童保育暖房改修工事	学童保育における感染予防対策として換気の徹底が望まれている中、冬期間は特に室温低下を避けるため、換気の頻度が落ちる。そのため、高出力の暖房機器を設置し、頻密に換気を行える環境を整備することで、感染リスクを低減させる。 【内容】 FF式暖房機更新費用（1台）	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			高出力の暖房機器を設置により室温及び換気の頻度を維持することができ、感染防止対策を徹底することで放課後児童クラブにおいて、新型コロナウイルス感染症を感染拡大することなく事業を実施することができた。	266,200
産業課	13	雇用の維持と事業の継続	地域の事業者	新型コロナウイルス感染症経済対策補助金（経営継続対策給付金事業）	緊急事態宣言等により、売上減少した事業者に対し支援金を支給することで、経営や雇用の継続・維持の支援をする。 【内容】 1事業者50万円（北海道からの支援金対象者は20万円）を上限に支給	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了			コロナ禍、国の緊急事態宣言、まん延防止等措置、道の外出自粛要請等により飲食店を中心に売り上げが減少した事業者等の経営継続に寄与することができた。（実績：飲食業4件、小売・宿泊・観光業5件、製造者6件）	3,383,000
産業課	14	次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復	地域の事業者	幌加内そば消費拡大PR事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、本町の特産品である「そば」の販売が著しく低迷しているため、アフターコロナを見据えて、「そばの里幌加内」をPR推進事業を展開して、販売増を図る。 【内容】 そばレシピ開発事業、そば通販サイトプロデュース事業	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	都内ホテルレストランにて、そば粉を使用した新たなレシピを開発し提供してもらうことで、需要増につなげる。 また、オンラインストアの広告を各種媒体に出すことで、新規顧客の獲得を目指し、コロナ終息後には、そば粉の売り上げをコロナによる販売低迷前より10%増加させる。	都内ホテルレストランにて、そば粉を使用した新たなレシピを５個開発し提供した。また、オンラインストアの広告を各種媒体に出すことで、新規顧客の獲得をすることができた。	町内そば製粉事業者の新たな販路拡大に向けた取組として、都市圏での「幌加内そば」のPR効果とブランド化を図ることができた。	1,040,000
産業課	15	次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復	町民	幌加内町消費拡大支援事業	緊急事態宣言等の影響により、低迷する地域経済の活性化を目的として、地域商品券を購入し、町民に配布することにより消費意欲の向上と地域の活性化を目的とする。 【内容】 地域商品券の購入、配布	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	地域商品券を町民1,335人に配布し、新型コロナウイルス感染症により低迷している、地域における消費を喚起する。	地域商品券を町民1,298人に配布し、新型コロナウイルス感染症により低迷している、地域における消費を喚起することができた。	落ち込む地域消費の回復を目指し、町内飲食業を中心に低迷する町内消費喚起に寄与し、町内小売業者の経営継続に貢献した。	14,083,970
保健福祉課	16	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	双葉保育園	保育対策総合支援事業費補助金	浮遊するコロナウイルスに対して低減効果のある空気清浄機の導入。ホコリに付着したウイルスが舞うことを防ぐため、通常よりも掃除の頻度が増えていることから微細なゴミを吸引する機能があり、かつ、排気によりホコリ等が空気中に舞うことのない機能の掃除機を導入。フェイスマスクの装着による感染対策。消毒シートやラウナークロスの使用による感染対策を行うことにより、保育園における感染リスクを低減する。 【内容】 備品購入、消耗品購入	R3. 8. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、保育園での感染者を０人とする。	感染防止対策を行うことで、保育園を発生源とする感染者を０人とする事ができた。	空気清浄機や掃除機の導入により空気中のウイルスが拡散することを防ぎ、職員が日常生活や職務において必要な感染対策物品の購入支援をすることで感染防止対策を徹底し新型コロナウイルス感染症を感染拡大することなく事業を実施することができた。	399,848

令和３年度 梶加内町新型コロナウイルス感染症対応に関連する事業											
担当部署	N o	区分	対象	事業名	事業の概要	事業期間	進捗状況	成果目標	目標に対する成果	事業の効果	総事業費 (円)
保健福祉課	17	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	ふたばクラブ	子ども・子育て支援交付金	浮遊するコロナウイルスに対して低減効果のある空気清浄機の導入、ホコリに付着したウイルスが舞うことを防ぐため、通常よりも掃除の頻度が増えていることから微細なゴミを吸引する機能があり、かつ、排気によりホコリ等が空気中に舞うことのない機能の掃除機を導入、フェイスシールドの装着による感染対策、消毒シートやカウンスターの使用による感染対策を行うことにより、放課後児童クラブ（学童保育）における感染リスクを低減する。 【内容】 備品購入費、消耗品費	R3. 8. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、放課後児童クラブでの感染者を０人とする。	感染防止対策を行うことで、放課後児童クラブを発生源とする感染者を０人とすることができた。	空気清浄機や掃除機の導入により空気中のウイルスが拡散することを防ぎ、職員が日常生活や職務において必要な感染対策物品の購入支援をすることで感染防止対策を徹底し新型コロナウイルス感染症を感染拡大することなく事業を実施することができた。	387, 488
高校	18	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	梶加内高等学校	学校保健特別対策事業費補助金	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため学校における感染症対策を促進する。 【内容】 感染防止対策用消耗品購入	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、梶加内高等学校での感染者を０人とする。	感染防止対策を行うことで、梶加内高等学校を発生源とする感染者を０人とすることができた。	梶加内高等学校において、感染防止用消耗品を整備することにより、国が示す「新しい生活様式」等の指針に基づき、感染防止対策を実施して、生徒の学びを保障できる環境づくりに寄与する事ができた。	616, 701
高校	19	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	梶加内高等学校	学校保健特別対策事業費補助金	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため学校における感染症対策を促進する。 【内容】 感染防止対策用備品購入	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、梶加内高等学校での感染者を０人とする。	感染防止対策を行うことで、梶加内高等学校を発生源とする感染者を０人とすることができた。	梶加内高等学校において、感染防止用備品を整備することにより、国が示す「新しい生活様式」等の指針に基づき、感染防止対策を実施して、生徒の学びを保障できる環境づくりに寄与する事ができた。	113, 190
教育委員会	20	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	梶加内小学校	学校保健特別対策事業費補助金	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため学校における感染症対策を促進する。 【内容】 感染防止対策用消耗品購入	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、梶加内小学校での感染者を０人とする。	感染防止対策を行うことで、梶加内小学校を発生源とする感染者を０人とすることができた。	梶加内小学校において、感染防止用消耗品を整備することにより、国が示す「新しい生活様式」等の指針に基づき、感染防止対策を実施して、児童の学びを保障できる環境づくりに寄与する事ができた。	23, 485
教育委員会	21	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	梶加内小学校・朱鞠内小学校・梶加内中学校	学校保健特別対策事業費補助金	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため学校における感染症対策を促進する。 【内容】 感染防止対策用備品購入	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、梶加内小学校・朱鞠内小学校・梶加内中学校での感染者を０人とする。	感染防止対策を行うことで、梶加内小学校・朱鞠内小学校・梶加内中学校を発生源とする感染者を０人とすることができた。	各小中学校において、感染防止用備品を整備することにより、国が示す「新しい生活様式」等の指針に基づき、感染防止対策を実施して、児童生徒の学びを保障できる環境づくりに寄与する事ができた。	294, 274
教育委員会	22	感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	梶加内小学校・朱鞠内小学校・梶加内中学校	学校保健特別対策事業費補助金	臨時休校の際にも円滑に教育活動を継続するため、児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。 【内容】 オンライン授業用備品購入	R3. 9. 1 ～ R4. 3. 31	令和３年度に事業完了	臨時休校となった際にも、オンライン授業を行うことで、通常授業と同等の教育環境を、全校生徒（梶加内小学校42名、朱鞠内小学校8名、梶加内中学校29名）に対して確保する。	臨時休校となった際にも、オンライン授業を行うことで、通常授業と同等の教育環境を、全校生徒（梶加内小学校42名、朱鞠内小学校8名、梶加内中学校29名）に対して確保する体制を構築することができた。	各小中学校において、臨時休校時など緊急時における児童生徒の学びの保障が図られたことはもとより、遠隔地にある学校等とのオンラインによる共同授業など新たな授業展開が期待される。	354, 640
					合 計						74, 581, 507